

IT時事ネタキーワード「これが気になる！」(第55回)

紅白の「AI美空ひばり」に賛否両論

2020.01.24



昨年末大みそかの紅白歌合戦で話題になった「AI美空ひばり」。AI美空ひばりは、NHKで9月29日に放送された「AIでよみがえる美空ひばり」で作られたものだ。没後30年を記念した歌声再現プロジェクトだ。

筆者の子ども時代、すでに大御所歌手としての地位を美空ひばりは築いていた。当時は、彼女がテレビに出てくると、チャンネルを替えたりして逃げ回っていた。

ところがあるとき、筆者が好きな小椋佳の曲を美空ひばりが歌った。小椋佳は語るように、つぶやくような作風。得意の節回しを抑え、明るくかわいらしく歌い、新境地を感じた。

正直、AI美空ひばりを見ても、彼女の人となりや「魂」を感じられず、彼女に似せたボーカロイド(音声合成技術で歌う仮想の歌手。「初音ミク」が有名)にしか思えなかった。もちろん、彼女の声を読み込ませ、ディープラーニングを駆使して再現された歌声は、よくできたものではあったが…。

AI美空ひばりには「感動した」と涙を流す人もいる一方、「気持ち悪い」「故人への侮辱だ」など、批判的な意見も続出した。

メディアのCG・AI事情… 続きを読む